

後期研修医募集にかかる腎高血圧内科のメッセージ

腎高血圧内科は、CKD の診断、管理、透析導入と AKI の診断、管理、透析導入、離脱、電解質・酸塩基平衡異常、高血圧症の診断、管理を担当しています。血液透析導入は年間約 30 例、腹膜透析導入は年間約 10 例です。新規発症のネフローゼ症候群も年間数例入院します（2017 年は半年で 5 例）。他科からのコンサルトも多く、透析、高血圧管理以外に血漿交換療法なども対応しています。

当科では、毎週カンファランスを行い、入院患者さんの診療方針を決定しています。透析患者さんに関しても血圧、ドライウエイト、貧血、K、Ca、P などの管理を医師、看護師、臨床工学技士の参加のもとカンファレンスを行って決定しています。これらに参加し、腎臓専門医や透析専門医を目指すための症例を経験できます。

腎高血圧内科には、4 名の常勤医が勤務し、専門医、指導医が複数います。日本腎臓学会や日本透析医学会、日本高血圧学会の認定施設、教育関連施設に登録されています。当科を後期研修することにより、腎臓疾患、透析管理、電解質・酸塩基平衡管理、血圧管理、血漿交換などの知識を幅広く身につけることができます。腎臓領域以外を専攻する場合でも内科医としての診療に確かな基盤を築くことが出来ると思います。意欲のあるかたの応募をお待ちしています。